

4月出荷に合わせたハウス被覆を行いましょう。

毎年4月のアスパラガスは、中野市への市場出荷要請が強く、高価格での販売が期待されます。今年は積雪多いため地温が低く萌芽が遅くなると思われます。
つきましては、被覆は3月初旬頃に行いましょう。

ハウス期の単価

- ・近年ハウス期(3~4月)は露地期(5~6月)に比べ1束当たり20円高い傾向です。

ハウス被覆留意点

- ・ハウス資材の曲がり・ゆるみ・破損等は補修を完全にしてから被覆する。
- ・保温資材は必ず準備しておく。また、ハウス内の北側に反射シートを張ると昇温効果が高い。
- ・前年土寄せしてある園地はうねの土をかき出してから、小トンネルの作業を行う。
- ・小トンネルには、ポリフィルムの外に保温マット等の二重掛けを必ず行う。

春肥の施用

- ・被覆後、ハウス内の雪が解けた頃の土壌水分がある状態の時に「野菜一番」を10a当り40kg施用してください。吸収根の働きが良くなります。
- ・土壌分析をされた方は、分析結果に基づき施用して下さい。

雑草防止対策

- ・越冬雑草の多い場合は、草かきで削り取るか、ロータリーで貯蔵根を切らない程度(深さ5cm)に軽くかける。
- ・除草剤使用例 *使用時期の厳守：ロロックス、ゴーゴーサン乳剤、及び細粒剤Fは萌芽前でのみ使用です。

条件	10a当り除草剤使用量
雑草がない場合	ロロックス 150g または ゴーゴーサン乳剤 30 300ml または ゴーゴーサン細粒剤 F4~6 kg
雑草が生えている場合	ロロックス 150g または ゴーゴーサン乳剤 30 300ml + プリグロックスL 600~1000ml
注意	1. 10a当り水100ℓに溶く。 2. 温暖な日に行う。 3. 水が溜まっているなどの極度に土壌水分が多い場合と土が乾いている時は効果が劣るので、使用時期注意する。 4. 萌芽前の散布を厳守する。

保温管理 ~積雪が多く、地温は平年より低い~

- ・萌芽まではハウス内を密閉し保温・保湿に努める。
萌芽が始まったら、日中ハウス内の温度は25℃を目安に換気をはかり良品を生産する。
- ・外気温が0℃以下に下がると予想される場合、小トンネルの上に保温被覆資材を被覆する。

水管理

- ・かん水は休眠覚醒及び吸収根の働きを活発にし、収量増大に効果があります。
乾燥している場合は、暖かい日の午前中をねらって定期的なかん水に努める。
- ・乾燥した状態では冷たい雨水などで土壌が冷えてしまうので、乾燥状態で被覆した場合はかん水をしましょう。

アスパラガスの約93%は水分です。乾燥していると収量減少につながります。